

形名

CB-DCS100A

このコントローラはDCファン専用です。適用機種をご確認のうえ使用してください。

- お客様へ

- ご使用の前に必ずこの取扱説明書（据付工事説明書付）をお読みになり、正しく安全にお使いください。
 - お客様ご自身では据付けないでください。（安全や機能の確保ができません。）なお、お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに添付別紙の「修理窓口・ご相談窓口のご案内」及びDCファン本体の取扱説明書とともに保管してください。
 - 使用方法、安全を確保するための正しい使い方について、販売店・工事店様から説明を受けてください。
- 工事店様へ

- 据付工事を始める前に必ずこの取扱説明書（据付工事説明書付）をお読みになり、正しく安全に据付けてください。
 - 据付工事は販売店様、または専門の工事店様が実施してください。
 - この取扱説明書（据付工事説明書付）に従って正しい使い方をお客様へご説明ください。
- 取付工事終了後は、必ずお客様にこの取扱説明書をお渡しください。
- この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できず、またアフターサービスもできません。
This appliance is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

1.安全のために必ず守ること

お客様へ

工事店様へ

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

<div><div>警告</div></div>	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性のあるもの
<div><div>注意</div></div>	誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの物的損害に結びつくもの

警告

お客様へ

禁止

●製品を水や消毒液につけない
火災・感電の原因。

分解禁止

●どんな場合でも改造はしない
分解修理は修理技術者以外の人は行わない
火災・感電・けがの原因。
修理はお買上げの販売店様または当社のお問い合わせ窓口にご相談ください。

ぬれ手禁止

●ぬれた手で操作をしない
感電やけがの原因。

指示に従う

●お手入れや保守点検の際は必ずファン本体のブレーカを切り、電源遮断後5分以上経過した後行う。
感電やけがの原因。

●据付けは専門業者に依頼する
火災・感電・けがの原因。

警告

工事店様へ

禁止

●爆発性の粉じんやガスの発生する場所、または発生するおそれのある場所には据付けない
爆発や火災の原因。

水ぬれ禁止

●雨・水のあたる場所には据付けない
感電の原因。

指示に従う

●電気工事は必ず有資格者である電気工事士が内線規程や電気設備技術基準に従って行う。
絶対に「手より接続」はしない
接続不良や誤った電気工事は感電や火災の原因。

●保守点検の際は必ずファン本体のブレーカを切り、電源遮断後5分以上経過した後行う
感電やけがの原因。

注意

お客様へ

禁止

●ファンに異常な振動が発生した場合は使用しない
製品・部品の落下によりけがの原因。

●1日50回以上のひんぱんな起動・停止を伴う使用はしない
部品の破損、落下によるけがの原因。

注意

お客様へ

禁止

●台風時、強風時にはファンを使用しない
製品・部品の落下によりけがの原因。

指示に従う

●長期間使用しないときは、必ず分電盤のブレーカを切る
漏電のときに火災・感電の原因。

●お手入れや保守点検の際は手袋を着用する
端面などに触れたときにけがの原因。

注意

工事店様へ

禁止

●直接炎があたるおそれのある場所に据付けない
火災の原因。

●衝撃を与えない
感電や火災の原因。

指示に従う

●製品の据付工事は十分強度のあるところを選んで確実に行う
落下によりけがの原因。

●開梱・据付け・保守点検およびお手入れの際は手袋を着用する
端面などでけがの原因。

浴室取付禁止

●浴室など湿気の多い場所（湿度90%以上）には据付けない
感電や火災の原因。

2.据付け前のお願い

工事店様へ

- 据付場所が悪いと故障の原因となります。次のような場所には据付けないでください
 - 屋外
 - 直射日光の当たる場所
 - 風雨にさらされる場所
 - 海拔1000m以上の場所
 - 振動のある場所
 - 塩害地域
 - 40℃を超える場所
 - －10℃未満になる場所
 - 湿度が90%を超える場所
 - 氷結するおそれのある場所
 - ほこりや油煙が多い場所
 - 腐食性ガスの発生する場所や化学薬品を扱う場所
 - 堆肥舎、ふん尿の上など腐食性ガスや水蒸気の発生・滞留する場所
- コントローラは斜めに据付けたり、傾けて据付けたりしないでください。
- コントローラは、ゆがんだ面や凹凸のある場所には据付けないでください。
- 入出力ケーブルは、他機器の電源線と50cm以上離して配線するか、別々の金属管に通して配線してください。
- 適用機種のDCファン以外では、使用しないでください。適用機種については、お問い合わせください。
- 旧タイプ（KH-DC100ETD、KH-DC100ETDG）には、使用できません。
- 本製品の故障等により重大な事故または損失の発生が予想される設備への適用に際しては、非常装置等の安全装置を設けてください。
- メガーテスト（絶縁抵抗測定）は行わないでください。

3.各部のなまえと外形寸法図

工事店様へ

4.据付方法

工事店様へ

1. 本体の据付け

上下2か所の取付穴用開閉部を開き、市販のM4ねじ（2本）で、壁面などにゆるみが発生しないようにしっかりと据付けてください。（適正締付トルク：0.75N・m）据付け後は、取付穴用開閉部を閉じてください。

お願い

- 必ず2ヶ所の取付穴を使用し、ねじで固定してください。
- 締付け過ぎないでください。壁やケースを破損する可能性があります。

警告

●結線作業の際は必ずファン本体の元電源を切ってから行う
感電やけがの原因。

2. 電気工事

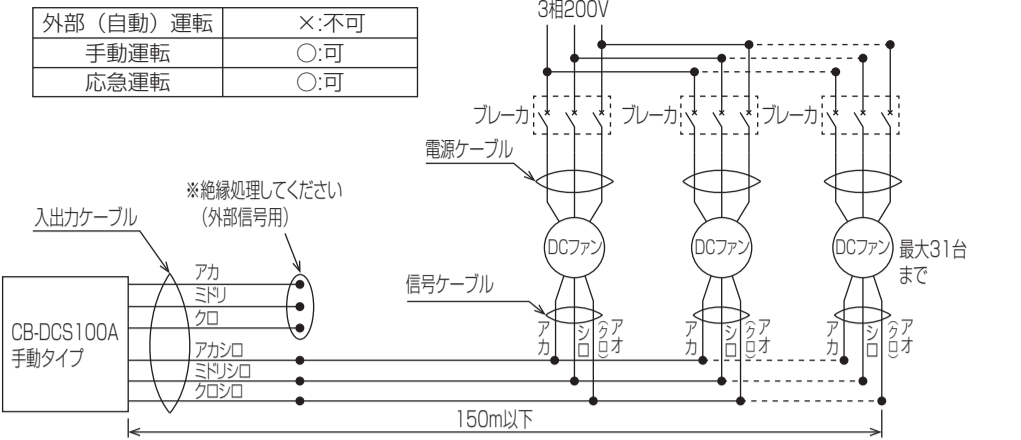
- 配線は内線規程を遵守して行ってください。
- 1台の手動タイプコントローラで制御できるファン台数は、31台まで可能です。
- 入出力ケーブルを延長する場合は、0.75mm²のケーブルを使用してください。
- 入出力ケーブルの配線長はコントローラから150m以下としてください。

注意

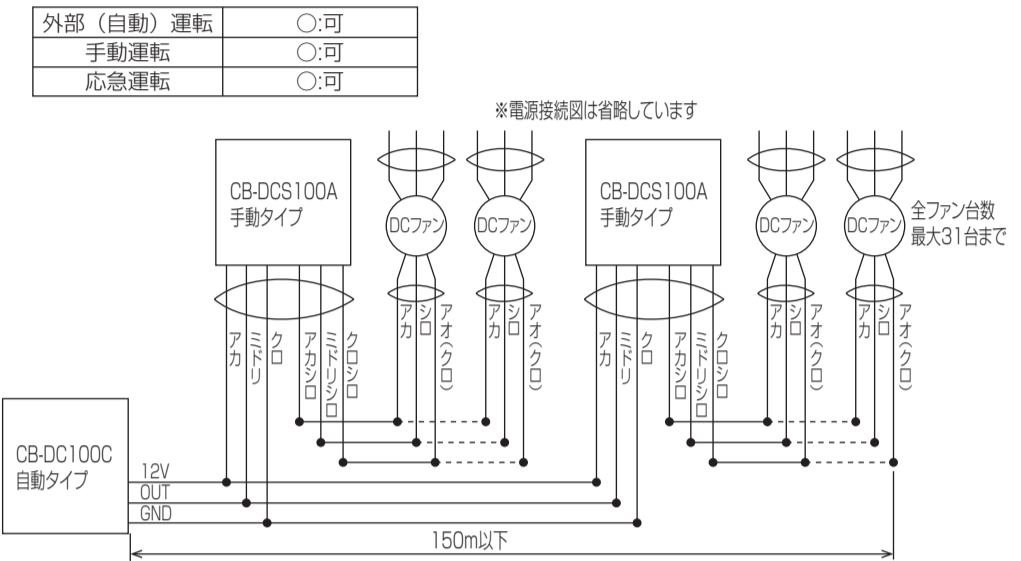
●電気工事は必ず有資格者である電気工事士が内線規程や電気設備技術基準に従って行う。
絶対に「手より接続」はしない
接続不良や誤った電気工事は感電や火災の原因。

1

■ 結線例1：手動タイプの接続

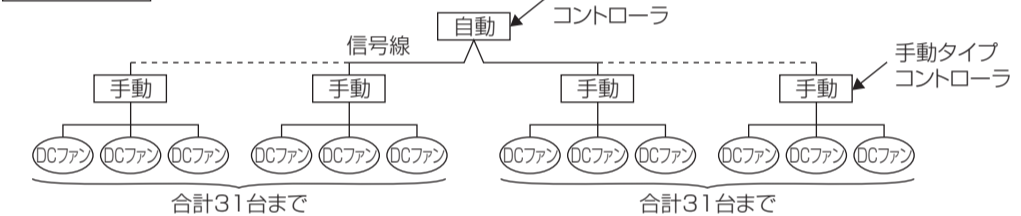


■ 結線例2：自動タイプと併用



- 入出力ケーブルの配線長は、自動タイプコントローラから最も遠いファンまでを150m以下としてください。
- 自動タイプコントローラ1台に手動タイプコントローラは並列に複数台接続できます。ただし、全ファン台数は、自動タイプコントローラの最大接続台数以上にはできません。（端末接続にて31台、中間接続(並列接続)の場合31台×2系統まで）

並列接続例



お願い

- ケーブルの接続、かしめ、固定、絶縁、防水等の処理は確実にしておこなってください。
- 配線・結線の間違いは故障・事故につながりますので必ず指示にしたがってください。また、ケーブルの線色を間違えないように注意してください。

5. 試運転

試運転前の確認

結線が間違っていないか確認してください。
運転切換スイッチを「手動」に、風量ツマミを「停止」にしてください。

電源を入れて運転確認

「使用方法」を参考にお客様立会いで試運転を行なってください。
その際、お客様に正しい使い方をご説明ください。

6. 使用方法

- このコントローラには外部、手動、応急の運転モードがあります。運転モードの切換えには、運転切換スイッチを使用します。
- 運転切換スイッチの位置、運転モードを確認した後に、ファンのブレーカを入れてください。

運転切換スイッチ位置	運転モード説明	使用方法
外部	外部（自動タイプコントローラの）信号で、風量制御する運転モードです。	自動タイプコントローラで風量制御します。使用方法是、自動タイプの取扱説明書を参照してください。
手動	手動で風量調整する運転モードです。手動運転時点灯ランプが点灯します。	風量ツマミで風量調整します。停止にするとファンは停止します。
応急	手動運転や外部信号運転ができなくなった場合に応急処置として、風量100%固定で運転するモードです。	故障の際に製品交換までの応急処置として使用してください。風量調整はできません。

お願い

- ツマミとスイッチの操作は、やさしくおこなってください。
- 風量ツマミの目盛は、めやすとしてご使用ください。

お知らせ

- 外部運転モードは自動タイプコントローラの接続なしでは機能せず、ファンは動作しません。
- ファンの元電源を切った後、ファンが減速するまでランプは点灯します。（異常ではありません）
- 停電状態から復帰した時は、ファンは停電前の状態で運転します。
- ファンの電源が入っていないとコントローラは操作できません。またコントローラでファンの電源入切はできません。
- コントローラを停止にただけではファンの電源は切れません。ファンの電源を切る場合はブレーカを切ってください。

7. 点検お手入れ

警告

- お手入れの際は必ずファン本体のブレーカを切り、電源遮断後5分以上経過した後に行う。また、ぬれた手で操作しない感電やけがの原因。

注意

- お手入れの際は手袋を着用する端面などでけがの原因。

- コントローラの汚れを布でふき取ってください。

お願い

- お手入れに下記の溶剤等を使用しないでください。変質、変色、変形や故障の原因になります。
（シンナー、アルコール、ベンジン、ガソリン、灯油、スプレー、酸性洗剤、アルカリ性洗剤、化学ぞうきんの薬剤、クレンザーなどの研磨剤入りの洗剤、殺菌剤、消毒剤など）

8. 修理を依頼する前に

下記のような現象が見られる場合、お客様で点検されても直らないときは、事故防止のため電源を切り、お買上げの販売店様または、工事店様に点検修理をご依頼してください。費用については販売店様にご相談ください。

現象	点検と処置	点検実施者	
		工事店様	お客様
手動時点灯ランプが点灯しない	● 入出力ケーブルの接続は正しいですか（正しく接続する） ● ファンの電源は入っていますか（電源を入れます） ● 運転切換スイッチが「手動」になっていますか（「手動」にします）	○ ○	○ ○
ファンが運転しない	● 入出力ケーブルの接続は正しいですか（正しく接続する） ● ファンの電源は入っていますか（電源を入れます） ● 風量ツマミが「停止」になっていませんか ● 自動タイプコントローラを接続しない場合に、運転切換スイッチを「外部」にしても、ファンは動作しません（「手動」にします） ● 外部運転する場合は、自動タイプコントローラの設定を確認してください	○ ○ ○	○ ○ ○ ○
手動速度調整ができない	● 入出力ケーブルの接続は正しいですか（正しく接続する） ● ファンの電源は入っていますか（電源を入れます） ● 運転切換スイッチが「手動」になっていますか（「手動」にします） ● 運転切換スイッチが「応急」になっていませんか（「応急」では100%固定運転となります。「手動」にします）	○ ○	○ ○ ○
外部運転ができない	● 入出力ケーブルの接続は正しいですか（正しく接続する） ● ファンの電源は入っていますか（電源を入れます） ● 運転切換スイッチが「外部」になっていますか（「外部」にします） ● 自動タイプコントローラの設定を確認してください	○ ○ ○	○ ○ ○
応急運転ができない	● 入出力ケーブルの接続は正しいですか（正しく接続する） ● ファンの電源は入っていますか（電源を入れます） ● 運転切換スイッチが「応急」になっていますか（「応急」にします）	○ ○	○ ○

9. アフターサービス

アフターサービスは、お買上げの販売店様へお申しつけください。
なお、おわかりにならないときは、当社のお問い合わせ窓口（添付別紙の「修理窓口・ご相談窓口のご案内」参照）へご相談ください。

10. 仕様

電 源	DC12V（ファン本体から給電）		
運 転 モード	外 部	外部信号運転（自動タイプコントローラ制御運転）	
	手 動	手動運転停止、10～100%運転(風量ツマミにて設定)	
	応 急	応急運転（外部、手動ができないとき 100%固定）	
使用周囲条件	温度－10～＋40℃（氷結のないこと）		
	相対湿度90%以下（結露のないこと）		
	屋内		
	腐食性ガス、塵埃のないこと		
コントローラ外装	ASA樹脂		
質 量	0.3kg		